

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年10月31日（月）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアP（P1、P2）

3 確認項目

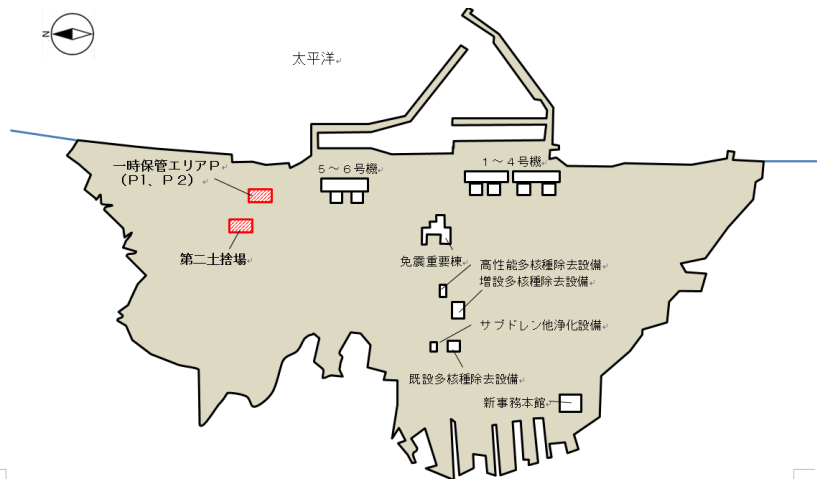
瓦礫類一時保管エリアPの現況

4 確認結果の概要

昨年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていたコンテナから放射性物質が漏えいした事象が確認された。また、6月～8月には一時保管エリアX及びP2で保管されていた収納容器（コンテナ、ノッチタンク）からの放射性物質を含む溜まり水の漏えいが確認された。さらに、一時保管エリアW1でコンテナの一部の天板に穴があることが確認された。これらを踏まえ、東京電力では本年3月を目処に飛散抑制対策（容器収納、シート養生）が必要な瓦礫類を保管している収納容器を耐候性のシートで養生する他、収納容器からの漏えい水が側溝に流入しないようエリアと側溝の境界部等に土のうを設置するとしていたこと、また、一時保管エリアPの東側法面に排水路を追設するとの情報を得たことから、先日、一時保管エリアPの現地確認を実施した。（前回確認日：[令和4年8月9日](#)）

さらに、東京電力では一時保管エリアP1東側の瓦礫について、保管状況の改善として、仮設集積場所（第二土捨場）への移送作業を実施していることから、その状況などを確認した。

- ・前回の現地確認時においては、放射性物質を含む溜まり水が漏えいした収納容器（ノッチタンク）は撤去されており、当該箇所は整地のうえ1m³コンテナが保管されていた。（写真1）
- ・一時保管エリアP1東側通路にトラック、その北側に油圧ショベルが配置されていたが、作業は実施していなかった。（写真2）
- ・一時保管エリアP1東側通路に保管されていた瓦礫の量が、前回確認時と比較して減少していた。（写真3）
- ・一時保管エリアP1東側の瓦礫の移送先である第二土捨場には油圧ショベルが配置されていたが、作業は実施していなかった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況 (令和4年8月9日、南東側から撮影)



(写真1-2)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況 (令和4年10月31日、南東側から撮影)



(写真1-3)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況 (令和4年8月9日、北側から撮影)



(写真1-4)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況 (令和4年10月31日北側から撮影)



(写真 2-1)
一時保管エリア P 1 東側の状況 (令和 4 年 8 月 9 日、南側から撮影)



(写真 2-2)
一時保管エリア P 1 東側の状況 (令和 4 年 1 0 月 3 1 日、南側から撮影)



(写真 2-3)
一時保管エリア P 1 東側の状況 (令和 4 年 1 0 月 3 1 日、写真 2-2 のトラックの北側において南側に向かって撮影)



(写真 3-1)
一時保管エリア P 1 東側の状況 (令和 4 年 8 月 9 日、南側から撮影)



(写真 3-2)
一時保管エリア P 1 東側の状況 (令和 4 年 1 0 月 3 1 日、南側から撮影)



(写真 4)
一時保管エリア P 1 東側の瓦礫の移送先である第二土捨場の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。